

科目名	発達障害幼児療育法				
授業形態	演習	学年	2		
開講時期	2023年度 後期	単位数	1		
担当教員	市川 和彦				
内容および計画	本演習では発達障害幼児を中心として児童、青年期についても扱い障害の特性と関わり合いの理解と技術を基礎に、主な療育法について実技・事例検討を取り入れながら学ぶことで、発達障害幼児と関わるうえでの保育者としての実践力の向上を目指す。取り上げる主な療育法としては「ASDとヨガ」「マインドフルネス」「触れる関わり」「音楽活動」「ダンス療育法」等を取り上げる。また、実際の障害児者との関りを重視しボランティアフェスタ、療育活動「あそびの会」の活動に参加する。				
1	オリエンテーション、発達障害概説～発達障害とは何か～				
2	発達を促す活動・遊びⅠ ヨガ、マインドフルネス②				
3	発達を促す活動・遊びⅠ ヨガ、マインドフルネス② ゲストスピーカー				
4	触れる関わり①				
5	触れる関わり②				
6	「あそびの会」の説明				
7	「あそびの会」準備				
8	「あそびの会」実践				
9	発達を促す活動・あそびⅡ音楽活動①コード、即興演奏				
10	発達を促す活動・あそびⅡ音楽活動②コードで弾こう				
11	発達を促す活動・あそびⅡ音楽活動③コードで弾こう				
12	発達を促す活動・あそびⅡ音楽活動④指導法				
13	発達を促す活動・あそびⅢダンス療育法①歴史と理論、目的				
14	発達を促す活動・あそびⅢダンス療育法②実技				
15	発達を促す活動・あそびⅢダンス療育法③実技				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	施設内暴力～利用者からの暴力への理解と対応	市川和彦、木村淳也 著	誠信書房	978-4-414-60156-5	2016
資料を配布します					
	参考書				
成績評価					
	評価方法				割合(%)
	総合評価				80
	授業への貢献度				20

学習到達目標	発達障害についての正しい理解と実際に現場で用いることのできる療育法について身につけ実践できる。
先修条件	
実務経験	1985～1993 知的障害者授産施設 生活支援員 1993～1997 知的障害児施設 児童指導員 2009～2011 児童養護施設 児童指導員 家庭支援専門相談員
その他	土日の授業有 あそびの会は時期が変更になることがあります 履修者が4人以下の場合はプログラムを若干変更し療育の現場での実際の体験をできるだけ多く持っています。子どもたちと触れ合うのが最も学習になりますから。